

2026年9月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

『We are smile producers!』

全ては笑顔のために

株式会社アミファ

2026年5月15日

amifa

スタンダード市場(証券コード7800)



**2026年9月期（26/9期）
第2四半期（中間期）決算概要**

I

amifa

【外部環境】

- + 雇用・所得環境の改善
- + 景気は緩やかな回復基調
- インフレや円安の継続→消費者物価上昇の継続
- 米国の通商政策、中東情勢によるエネルギー価格の高騰

先行きは依然として不透明

【内部環境】

- + 新企画、新商品提案に積極的取り組み
- + ライフスタイル商品の販売に注力
- + 売場提案力の強化や売れ筋商品の集中
- + 原価低減施策の継続

売上は前年同期を上回る実績
損益は大幅な増益

26/ 2 Q損益概要 (対25/ 2 Q)

売上高は、前年同期比188百万円増加（3.7%増）の5,326百万円
円安環境が継続する中でも売れ筋商品の集中による販売、原価低減、在庫評価損の減少により大幅に原価率が改善。販売費及び一般管理費比率の改善により大幅な増益を達成。

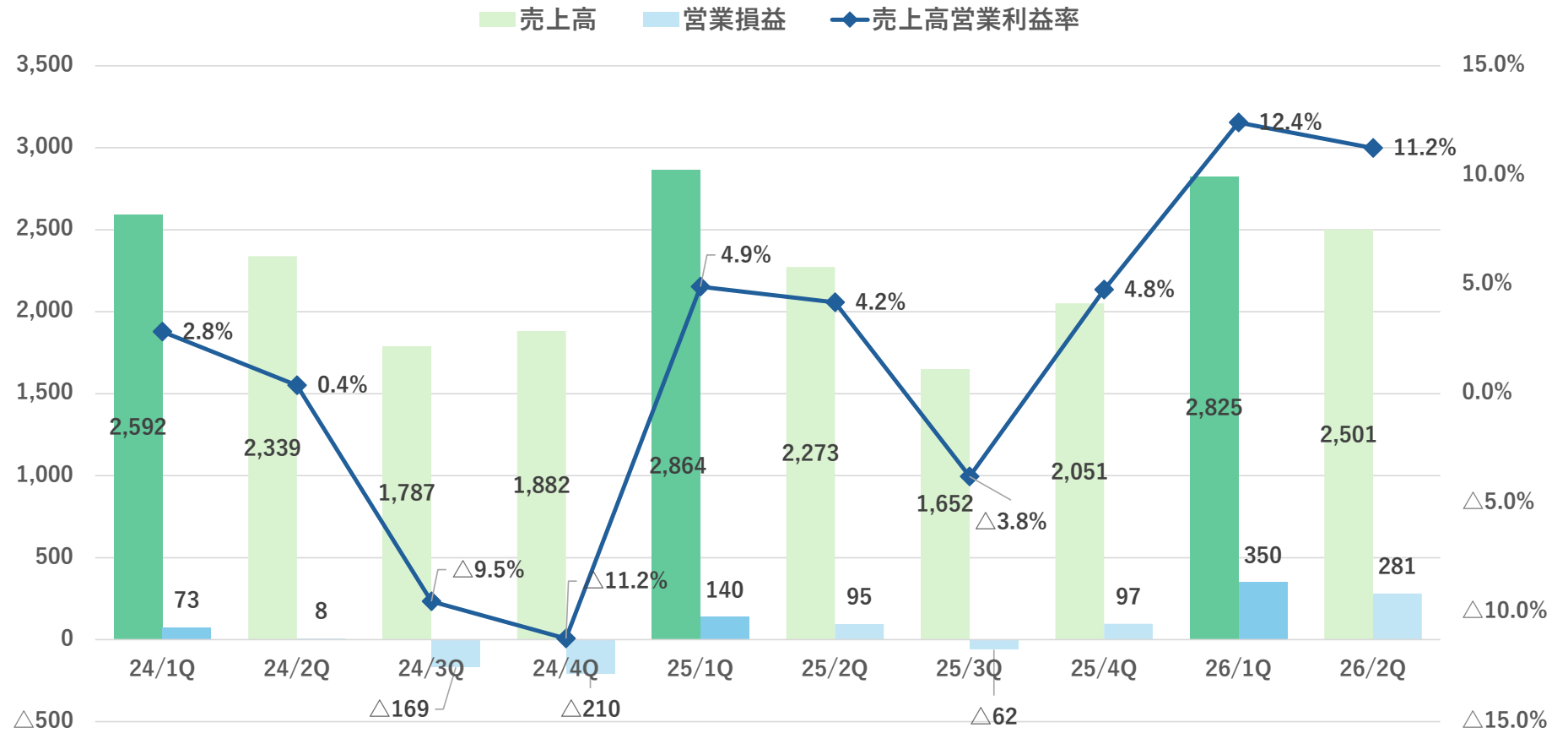
(単位：百万円)

	25/2Q	26/2Q	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	5,138	5,326	188	3.7%
営業利益	(4.6%) 235	(11.9%) 631	396	168.4%
経常利益	211	617	406	192.3%
中間純利益	111	406	295	264.6%
1株当たり 中間純利益(円/株)	36.98	131.55	94.57	255.7%

半期売上高・営業利益推移

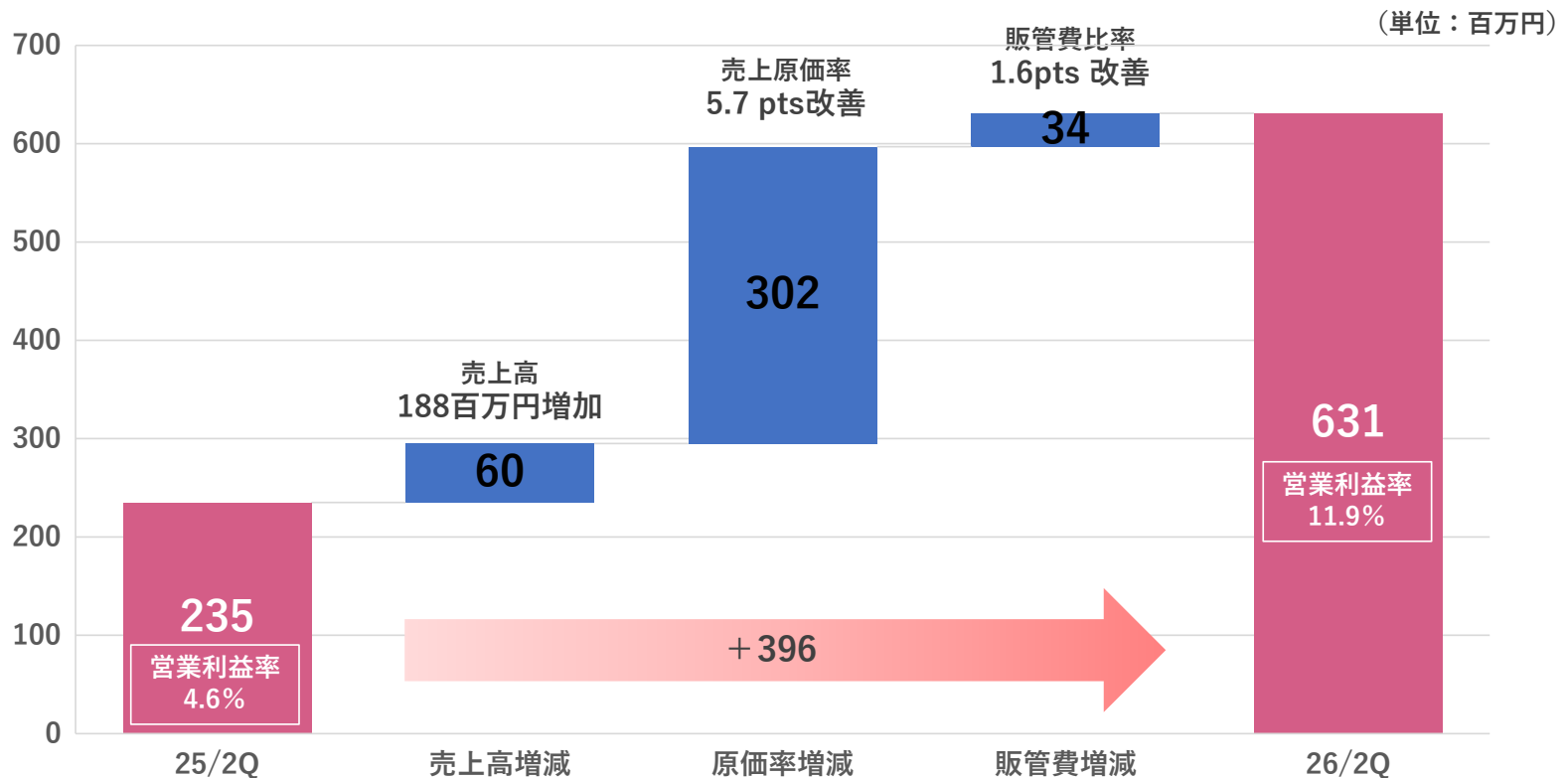
(百万円)

営業利益率



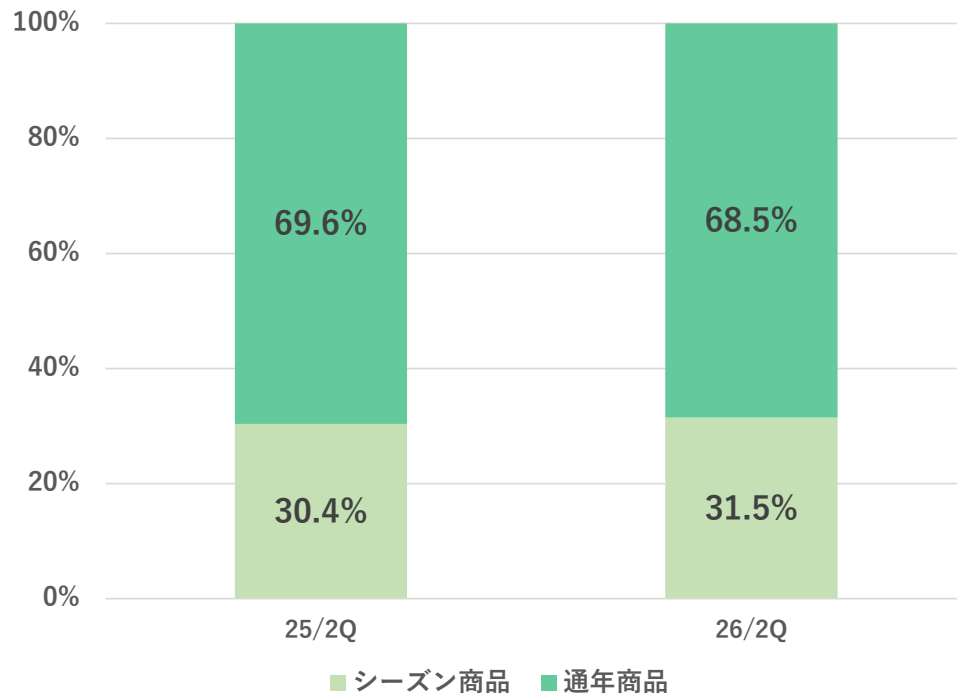
営業利益増減内訳（対25/2Q）

売れ筋商品の集中による売上げが伸びたことに加え、円安環境が継続する中でも原価低減、商品評価損の大幅な減少により、売上原価率は前年同期比5.7pts改善。販売費及び一般管理費は、削減努力により、販管費比率は前年同期比1.6pts改善。その結果、営業利益は396百万円の増益。



26/2Q 「シーズン商品」と「通年商品」比率（対25/2Q）

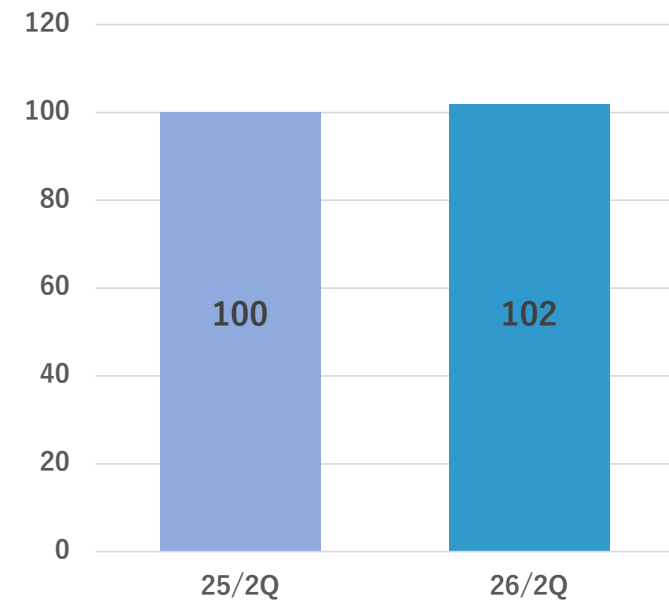
生産性向上と売上安定化を目指した「通年商品比率アップ戦略」の効果により、通年商品比率は前年並みをキープ。



バレンタイン関連商品売上高

バレンタイン関連商品は微増

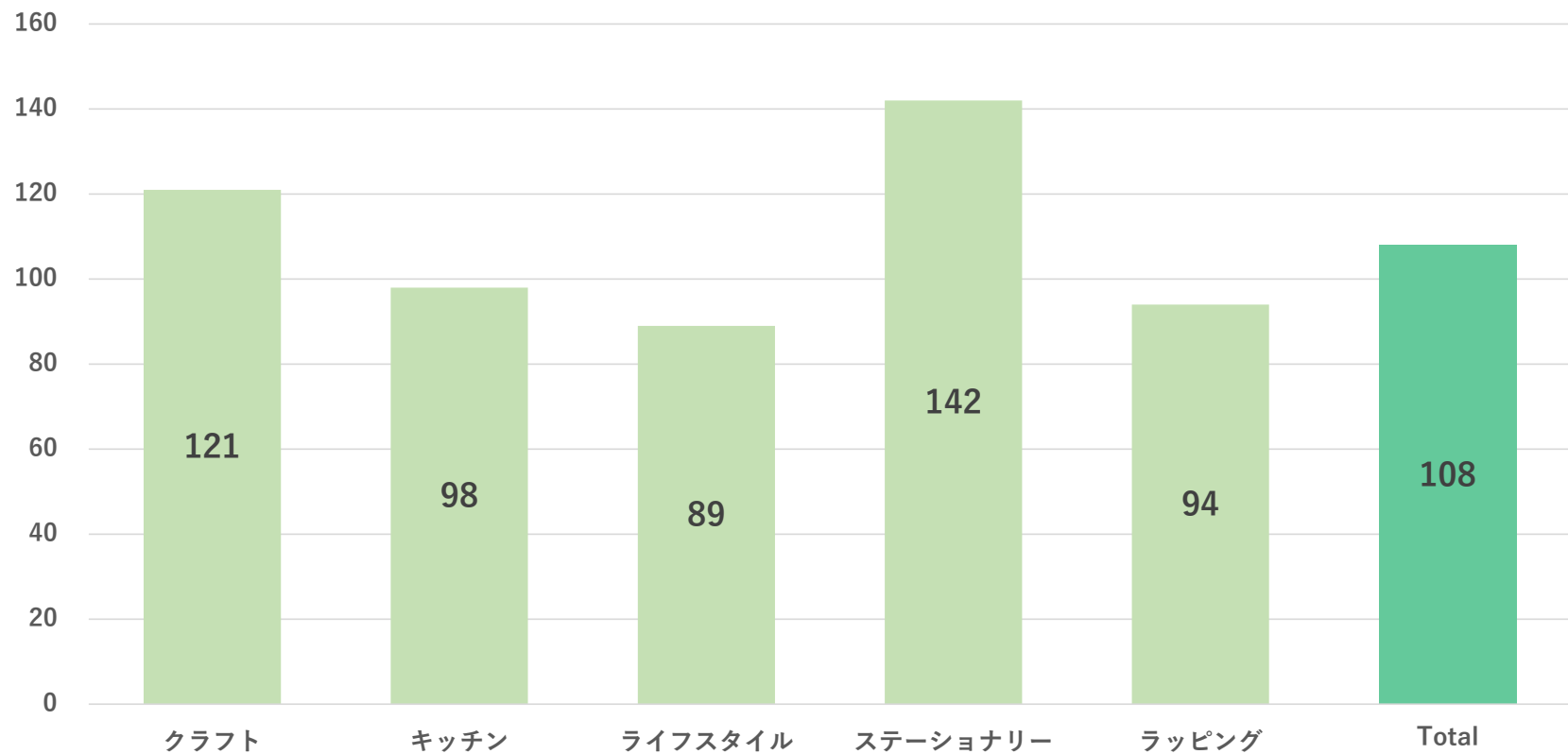
(25/2Qの売上を100として指数化)



均一価格ショップ向け商品群別売上増減（対25/2Q）

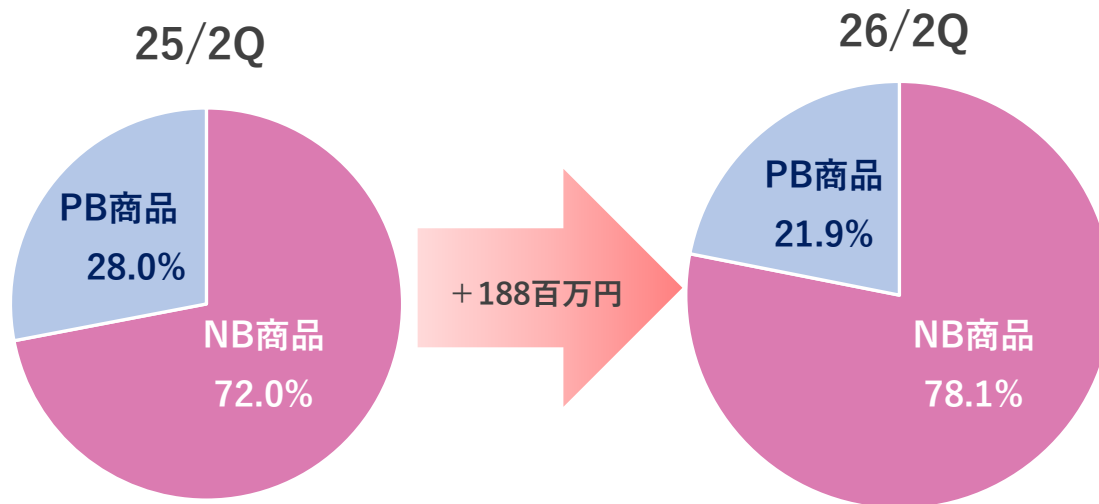
クラフト、ステーションナリーが大幅に伸長

(25/2Q = 100)



NB・PB区分別売上高推移（対25/2Q）

PB商品の売上高は270百万円減少するも、NB商品は売上高（+459百万円）、構成比率（72.0%⇒78.1%）ともに大幅に伸長。



（単位：百万円）

	25/2Q	26/2Q	増減額	増減率
NB商品	3,699	4,158	459	12.4%
PB商品	1,438	1,168	△270	△18.8%
合計	5,138	5,326	188	3.7%

当事業年度より、中期経営計画に掲げる「ブランド価値に基づく差別化・収益力強化」に沿った数値を開示しております。これに合わせ、前年同期も左記に沿った数値にしております。

NB（ナショナルブランド）

当社独自のブランド名（主に「amifa®」）で販売。

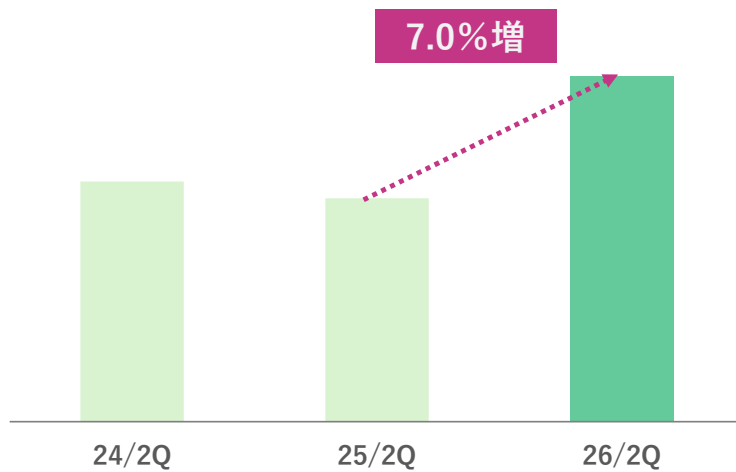
PB（プライベートブランド）

得意先のブランド名で販売。企画と製造、もしくは製造のみを当社が担う。

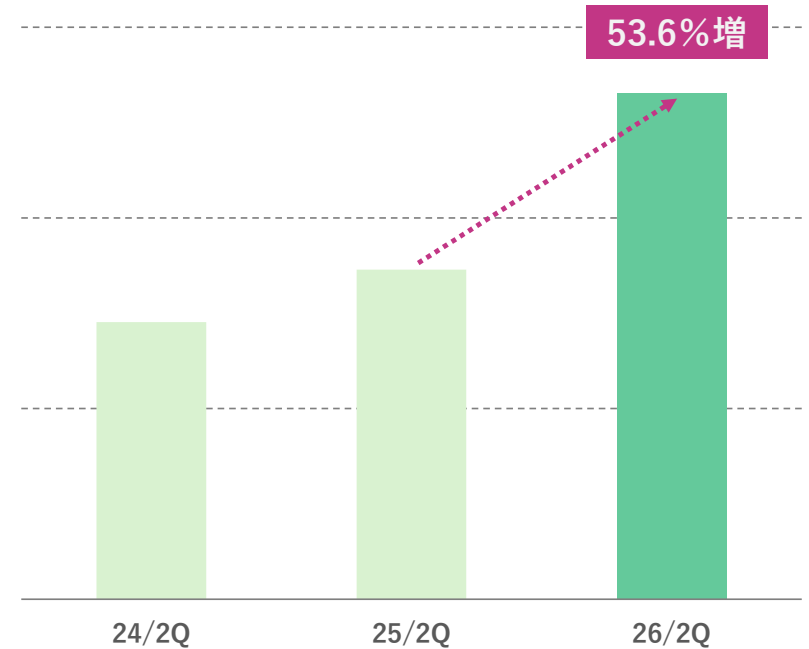
従業員1人あたり売上高・付加価値額推移

従業員1人あたり売上高は7.0%増加。
1人あたり付加価値額は、売上原価率の改善、販売費及び一般管理費の削減の取組みにより、前年同期比53.6%増と大幅に伸長。

従業員1人あたり売上高



従業員1人あたり付加価値額

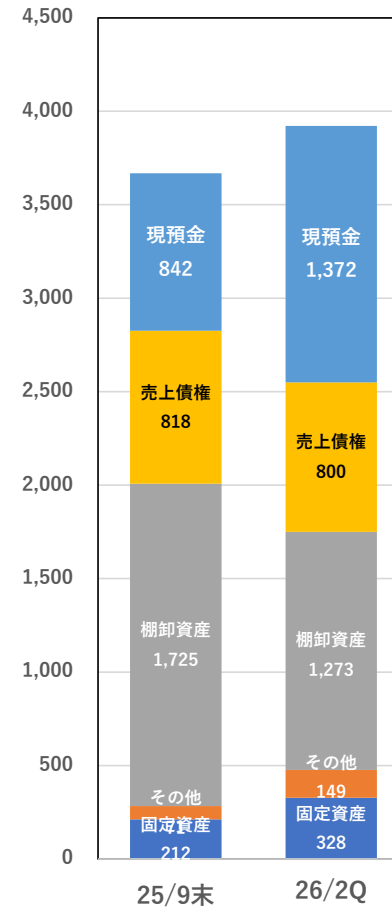


貸借対照表

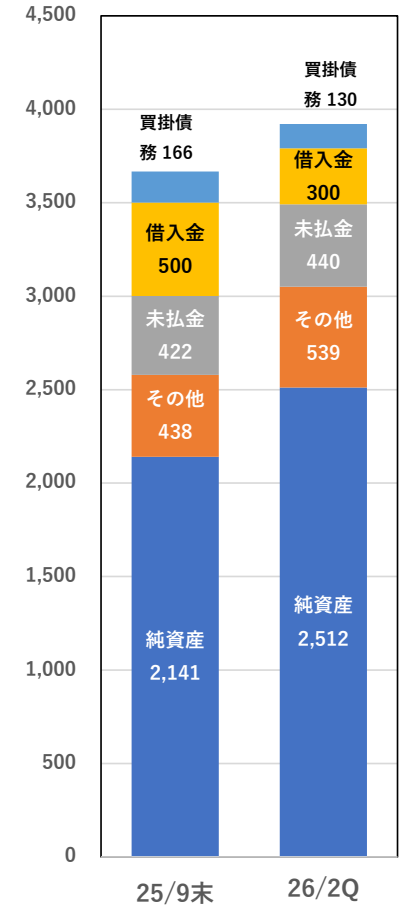
(単位：百万円)

科目	25/9末	26/3末	増減	内訳	
流動資産	現金及び預金	842	1,372	529	
	受取手形・売掛金・電子債権	818	800	△ 18	売掛金 △11 電子記録債権 △8
	棚卸資産	1,725	1,273	△ 452	商品 △454
	その他流動資産	71	149	77	デリバティブ資産 +64
流動資産計	3,458	3,594	136		
固定資産	有形固定資産	25	68	42	建設仮勘定 +35
	無形固定資産	55	47	△ 7	
	投資その他の資産	131	213	81	敷金 +98 繰延税金資産 △22
	固定資産計	212	328	115	
資産計	3,671	3,923	252		
流動負債	買掛金	166	130	△ 36	
	短期借入金	299	184	△ 115	短期返済 △100 長期返済 △15
	未払金	422	440	17	
	その他流動負債	147	245	97	
流動負債計	1,036	1,000	△ 35		
固定負債	長期借入金	201	116	△ 84	長期借入返済 △84
	長期未払金	254	254	0	
	退職給付引当金	37	40	2	
固定負債計	493	411	△ 82		
負債計	1,529	1,411	△ 118		
純資産	資本金	37	37	0	
	資本剰余金	273	142	△ 130	第三者割当 △130
	利益剰余金	1,957	2,286	328	
	自己株式	△ 141	△ 10	131	自己株式処分 131
繰延ヘッジ損益	14	56	42		
純資産計	2,141	2,512	370		
負債・純資産計	3,671	3,923	252		

資産



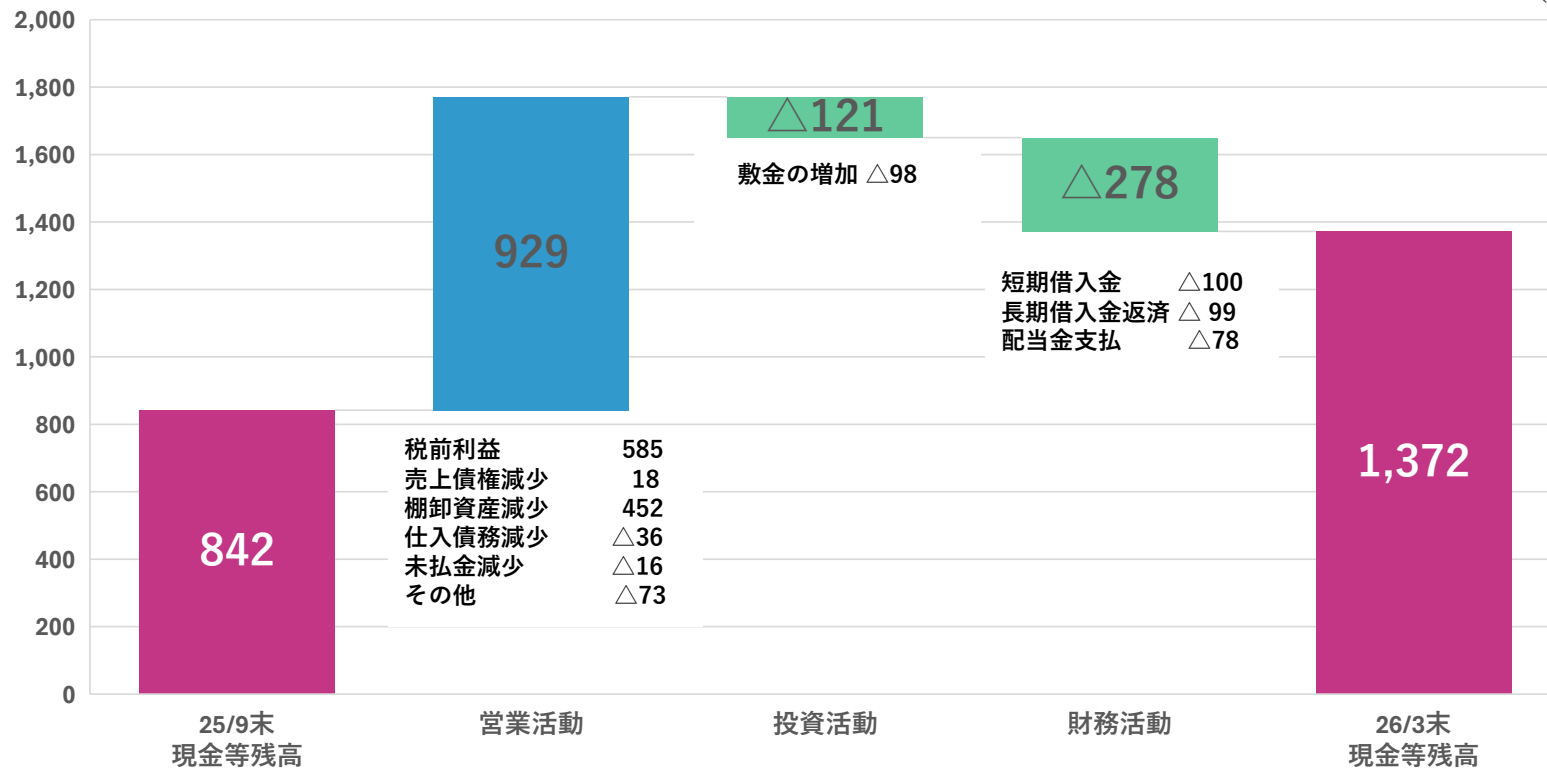
負債・純資産



キャッシュフロー計算書

- ・ 26年3月末現預金等残高は529百万円増の1,372百万円
- ・ 借入金の期末残高は前期末から199百万円減の300百万円
- ・ 税前利益の増加、棚卸資産の減少により、営業CFは929百万円

(単位：百万円)



2026年9月期 通期業績予想
および配当予想

II

amifa

2026年9月期 通期業績予想の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想 (2025年11月14日)	今回修正予想 (2026年5月15日)	増減		(参考) 25/9期実績
			金額	%	
売上高	9,000	9,000	—	—	8,842
営業利益	275	620	345	125.5 %	270
経常利益	260	600	340	130.8 %	239
当期純利益	400	680	280	70.0 %	194
1株当たり 当期純利益 (円/ 株)	126.74	215.46			64.44

売上高：

- 過去最高を更新する見通し
- 通期予想は修正なし

営業利益及び経常利益：

- 上半期の業績は当初の想定を大きく上回る進捗。
- 一方、下半期は、
 - 当社事業の特性上、利益が上半期に偏重する傾向があること
 - 円安の継続や原油価格の高騰など、先行きが不透明な外部環境の影響を懸念
 - 上記の状況を総合的に勘案し、通期の営業利益および経常利益を修正

当期純利益：

- 下半期において本社移転を実施
- 特別損益として受取移転補償金および本社移転費用を計上する見込み
- 当期純利益は、680百万円とする修正

2026年9月期 配当予想の修正

	年間（期末）配当金（円）
前回発表予想 (2025年11月14日公表)	26円00銭
今回修正予想	30円00銭
(参考) 前期実績 (2025年9月期)	26円00銭

<基本方針>

- 安定的かつ継続的な剰余金配当の実施
- 配当性向30%およびDOE（株主資本配当率）3%以上を目標

<2026年9月期の配当予想>

- 当期純利益は、上方修正
- 一方、当期純利益には、受取移転補償金および本社移転費用等の一時的な損益が含まれる
- 特別損益等の一過性要因を除いた当期純利益を基準に配当予想を算出
- 1株当たり26円から4円増配し、**1株当たり30円**とする予定

26/9期 2Qの商品トピックス

III

amifa

スタンプ企画

組み合わせ次第で多様な表現が可能な拡張性の高いスタンプを2026年1月、7アイテム発売しました。高い反響を獲得し、「全部ほしい」「生産数を増やしてほしい」といったコメントも多数寄せられました。昨今のスタンプブームにものり、高い支持を集める人気商品です。



コーデが楽しい



アレンジいろいろ



メルティークリームソーダ企画

2026年3月、「クリームソーダ」をテーマにした文房具シリーズを11アイテム発売。amifaが得意とする高いビジュアル表現力が支持され、Instagramでは、公式アカウント史上最高水準のいいね数を記録しました。



擬人化企画

思わず集めたくなるクセのある可愛らしいデザインが支持を集め、2026年3月に18アイテムのシールやスタンプ等を発売しました。ユニークな世界観と豊富な商品バリエーションを組み合わせることで、SNSやYouTubeでの紹介投稿やユーザー生成コンテンツも活発に生まれ、ファン層の拡大につながりました。



<お問い合わせ先>

経営企画室 IR担当

メールアドレス：ir@amifa.co.jp

**本資料における将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証をあたえるものではありません。
予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。**